私達の長穂

川狩号

編集発行
住みよい長穂をつくる協議会
長穂公民館

No. 100

平・六・六・二五

◇好天に恵まれた「ホタルまつり」

長穂公民館長　原田　芳雄

第十一回目を迎えた「ホタルまつり」前日の空模様を見ながらの準備、今回は小・中学校の児童生徒を始め、地域の皆様方のご協力のもとに、当日は本当に良い天候に恵まれ盛会裡に無事終了いたしました。

これもホタルまつりのイベントとして、各種団体による出店コーナーが幅広く展開され地域外から大勢の入場者を迎え、人それぞれが歓喜とともに感激の声を聞きますと、地域の皆様方のお力添えがなくては出来ないものと思っております。

前日からの諸準備等に大変ご尽力頂きました皆様方に対し、心から感謝申し上げますとともに、この〃ホタルまつり〃を行う事により地域の触れ合いの場として、ますます発展するように祈念申し上げます。

◇がんばっています

（小学校の部）

母の日記念児童画（丸久）（佳作略）

推薦	二年	杉村　悠太
入選	〃	河村　幸
〃	〃	萩原　準也
〃	〃	国兼　千恵
〃	〃	おか村　しょう
〃	〃	藤井　優子
〃	三年	広林　徹夫
〃	〃	清木　綾乃
〃	〃	実近美　沙子
〃	〃	佐古　雅尚
〃	〃	河村　勇作

よいコンクール優秀賞

よい歯のコンクール優秀賞	六年	国重　貴郎
	〃	蔵田　裕介
	〃	竹本久　美子
	〃	安井　広美

第11回長穂ホタルまつりの一齣です。

☆本紙100号になりました！！

コミュニティ協議会長　藤本富夫
公民館長　原田芳雄

昭和61年6月第1号を発刊して、丸々の8年、本紙「私達の長穂」が第100号を迎えました。（増刊4回を含む）

今、発刊当初よりの各号を追って見ますと、長穂地区の過去の8年間がVTRの文字版でも見ているような調子で、微に入り細に亘り種々思い出されます。今更の感でもありますが、もっと早くから此のような記録を執っていたらと、口惜しくさえ思います。正に後悔先に立たずです。

このことは一重に本紙を担当された編集委員の方々の、1回の休刊もなき月毎の協評と、又当初より一貫してその任に当られた編集長兼筆工である、八木氏のご労苦の結果であることは皆様ご存知の通りです。

今後共本紙の継続と発展を願い、担当の方々のご労苦を多としながらも、益々のご健闘を祈念いたします。

◇慶弔近報（敬称略）

出生　秋貞　慎吾　H6年6月6日生
父　敏之　次男

心からお喜び申し上げます

◇行事予定

日付		行事
7月4日(金)	中	期末テスト
〃2(土)	小	七夕集会
〃〃(〃)	児	ニコニコクラブ(児童園)
〃5(火)	公	健康相談13:30(公民館)
〃6(水)	公	肺ガン・結核検診13:30(公民館)
〃10(日)	公	北部球技大会8:00~中須小学校外
〃12(火)	公	老人大学10:00~須々万
〃15~16(金~)	中	宿泊訓練(光青年の家)
〃18(月)	小	地区児童会
〃19(火)	小中	保護者会㊥役員会
〃20(水)	小中	終業式
〃21(木)	中	部団清掃
〃22~23(金~)	中	ソフトテニス県選手権大会
〃24(日)	小	北部P球技大会
〃26(火)	小	水泳記録会(沼城小)
〃26~27(火~)	中	バレーボール県選手権大会
〃30(土)	中	徳山市秋季体育大会

◇お知らせ 公民館

◇胸部（肺がん・結核）検診（保健婦・富田）

一年に一回定期的に検診を受け自分の健康を確認しましょう。

お宅の近くまで検診車が参ります

7月6日	13:30~14:00	長穂公民館
	14:20~14:50	莇地自治会館
7月7日	9:10~9:30	別分・広林　祐宅前
	9:40~10:00	木津・国兼　商店前
	10:10~10:30	宮原・農協前
	10:50~11:10	山手・長野　満晴宅前

◎莇地の方は自治会館に変更されたので間違いなきよう。

◇公民館文庫より

この度新刊二六冊が入庫いたしました・皆さんのご利用お待ちしています・

（中学校の部）

平成六年度徳山市中学校陸上競技大会

一年女子	走り幅跳び	第三位	神杉　加奈
二〃男子	〔五〇〇M〕	〃五〃	猿渡　博行
〃〃	八〇〇M	〃七〃	〃
〃〃	砲丸投げ	〃八〃	貞森　隆之
〃女子	二〇〇M	〃四〃	広林　早苗
〃〃	八〇〇M	〃六〃	神杉　夏美
〃〃	走り高跳び	〃六〃	田畑美　沙子
〃〃	四〇〇Mリレー	〃八〃	
三年女子	一〇〇M	〃四〃	安井　美紀
〃〃	二〇〇M	〃七〃	〃
〃〃	八〇〇M	〃八〃	中村　輝子
男子三段跳び		〃五〃	藤本　祐一
女子砲丸投げ		〃一〃	金光　広江

総合・Cブロック女子　第一位

（長寿会の部）

徳山市ペタンク・グランドゴルフ選手権大会
グランドゴルフの部

優勝　長穂第二チーム

後記　農繁期を終えホッと一息か・百号を終えホッと一息が油断の元、お互い頑張りましょう。（編集小僧）